

第4回 丹波市生涯学習基本計画審議会（摘録）

開催日時	令和6年8月21日（水）午後7時00分 開会～午後9時00分 閉会
開催場所	丹波市立氷上住民センター 実習室
出席者	<p>【委員】 岡田龍樹委員長、蔦木伸一郎副委員長、立石実希副委員長、橋本崇史委員、足立和宏委員、山内佳子委員、藤原亨委員、西垣義之委員、大槻芳裕委員、石塚和彦委員、上山未登利委員、下野広志委員、</p> <p>【事務局】 谷水仁まちづくり部長、山内邦彦市民活動課長、前田大志地域協働係長、瀧上充之生涯学習係長、藤原真理主幹、足立大希主査、細見有加主事 大西伸弘生涯学習推進員</p> <p>【関係部署】 社会教育文化財課 小島崇史課長</p>
欠席者	萬浪委員、松井委員
傍聴者	0名
次第	<ol style="list-style-type: none"> 1. 開会 2. 委員長あいさつ 3. 会議の公開・非公開の決定について 4. 報告事項 5. 協議事項 6. 各委員からの報告・共有事項 7. 今後の開催日程 8. 閉会
資料	<p>～配布資料～</p> <p>【会議次第】 【資料①】 丹波市生涯学習に関するアンケート結果（単純集計） 【資料②】 アンケートクロス集計資料 【資料③】 丹波市生涯学習基本計画の目次（案） 【資料④】 前回までのワークショップまとめ 【資料⑤】 丹波市生涯学習基本計画 第3章（案）</p> <p>～参考資料～</p> <p>【参考資料】 丹波市生涯学習に関するアンケート調査票</p>

会議摘録	
発言者	発言の要旨
事務局	<p>1. 開会</p> <p>ただいまから第4回丹波市生涯学習基本計画審議会を開催いたします。</p> <p>委員の皆様にはご多用のところ、本委員会にご出席いただき誠にありがとうございます。</p> <p>会議録作成のため、会議の内容を録音させていただくことをご了承ください。</p> <p>また、発言の際には、委員長から指名されたあと、マイクをお持ちしますので、最初に氏名を言っていただき、ご発言をお願いします。</p> <p>【欠席者の報告】</p> <p>岡田委員長からご挨拶をお願いします。</p>
委員長	<p>2. 委員長あいさつ</p> <p>本会も第4回となりました。</p> <p>今回の内容ですが、アンケートの調査内容のご確認をいただくことや、いよいよ本計画の骨子についてみなさんと協議をしていきたいと思っております。</p> <p>ご協力よろしくお願いたします。</p>
事務局	<p>次に会議の公開・非公開についてです。</p> <p>岡田委員長お願いします。</p>
委員長	<p>3. 会議の公開・非公開の決定について</p> <p>個人情報特定されることはないので、「公開」としてよろしいか。</p>
委員	<p>異議なし</p>
委員長	<p>それでは、本会議については「公開」として進めていきます。</p> <p>議事録作成の為に音声も録音いたします。よろしくお願いたします。</p>
委員長	<p>4. 報告事項</p> <p>次第に沿って進めてまいります。</p> <p>生涯学習に関するアンケート調査について事務局から説明をお願いします。</p>
事務局	<p>【生涯学習に関するアンケート結果について報告】</p>
委員長	<p>まずは単純集計をしていただいている。</p> <p>2,000件に対して回収が703通。回収率は35.2%。丹波市の人口ピラミッドとアンケート回答者の人口ピラミッドを対比して、おおむね形が似ているので、今回のアンケートの内容を参考にさせていただいて問題ないと思っております。</p> <p>今後の議論の中でクロス集計が必要な項目についてはご意見をいただければ</p>

<p>委員</p> <p>委員長</p> <p>事務局</p> <p>委員長</p> <p>委員</p> <p>委員</p> <p>事務局</p> <p>委員</p>	<p>と思います。また、クロス集計は数値だけではなく、%表記を追加するようにしてください。</p> <p>今の時点で、アンケート結果からご意見をいただくのは難しいと思います。</p> <p>確認のみさせていただきます。</p> <p>調査対象の 2,000 件の割合を示してほしい。</p> <p>住民基本台帳から無作為抽出していますか。</p> <p>住民基本台帳から年代別の割合に応じて対象者を無作為抽出しています。</p> <p>2,000 人の調査対象者がすべて回答すると、丹波市の人口ピラミッドと同じ形になります。いわゆる二段階抽出を無作為で行っている状態になります。</p> <p>2,000 件に対してどの年代が何人対象になっているのか知りたいです。</p> <p>10 代の抽出はどのようにになりますか？</p> <p>18 歳、19 歳の方がアンケートの対象者であり、抽出の対象です。</p> <p>記載をしていただければと思います。</p>
<p>委員長</p> <p>事務局</p> <p>委員長</p> <p>委員</p> <p>委員長</p>	<p>5. 協議事項</p> <p>計画全体の構成について、事務局から説明をお願いします。</p> <p>【資料③】丹波市生涯学習基本計画の目次（案）について説明</p> <p>おおよそ基本計画になるとこのような目次にあります。</p> <p>1 章については事務局で書かれ、皆さんに共有されると思います。</p> <p>2 章についても、アンケート結果から記載がされるものと思います。</p> <p>3 章の 2 期計画としての基本構想の方向性を決めていき、その中身についてもつめていくという事です。</p> <p>今回、第 2 期計画になるので、第 1 期計画を振り返る項目を入れる必要があると思います。</p> <p>第 1 期の結果を踏まえて、そこから見えてくる課題などについても触れる必要があります。</p>

委員長	<p>それでは、次第の②計画の基本理念や目指す方向性などの決定について事務局から説明をお願いします。</p> <p>(事務局から説明)</p> <p>【資料④】 前回までのワークショップまとめ</p> <p>【資料⑤】 丹波市生涯学習基本計画 第3章(仮)</p>
委員長	<p>今回提出されている基本理念や目指す方向性の案については、確実に決定しなければいけないというものではない。できるだけ、委員の皆さんのご意見をたくさん聞かせていただき、言葉を作っていくことが重要である。</p> <p>また、「地域教育ネットワーク」とはどういうことか。 学びや協働を支える人を「コーディネーター」と括ってしまっているのか。 「まなびの土壌」という言葉はどのようなものか。</p>
委員	<p>まだまだ、教育を取り巻く現状は縦割りであることがある。 今、コミュニティスクールなど混ざり合っている状況にある。 学校だけでも地域だけでも家庭だけでもない教育のカタチを「地域教育」として普及させていけ、丹波市の新しい教育のカタチを示せると思う。</p>
委員	<p>基本理念に「誰もが」という言葉は入れてほしい。生涯学習の話をするうえで、外国籍の方や、障がいを持っている人たちのこともちゃんとイメージできるようにしたい。</p> <p>大人や子どもの中にも入っていることはわかるが、「誰もが」の方がイメージしやすいのではないか。</p> <p>「まなびの土壌」や「ウェルビーイング」は言葉だけではイメージが難しい。ポンチ絵などで示せるのであればいい。</p> <p>言葉だけではなく、中身についても議論していきたい。</p>
委員	<p>ウェルビーイングは一般の方にはわかりにくい。 市民に伝えるのであればもう少しわかりやすい平易な言葉を選ぶべき。 市民の人に共感してもらえるようなものが重要。</p>
委員長	<p>言葉が難しいことは確かにあるが、新しい言葉は言い続けることで定着することもある。</p> <p>しかし、市民の人が分かりやすい言葉は重要。 インパクトも重要なので、言葉選びは慎重に行うことも必要。</p>
委員	<p>今の計画には知識循環型生涯学習のことが詠われている。 今までのこのような流れも方向性の中に入れることも重要ではないか。</p>

委員	<p>誰に見せたい計画なのか。</p> <p>市民の人を巻き込んで進んでいきたいのであれば、みんなが理解できる言葉が重要。</p> <p>「まなびの土壤」についてもイメージしやすいエッセンスを加えて表現ができないか。</p>
委員長	<p>「知識循環型社会」は2012年の中教審の言葉。</p> <p>今はそこから「SDGs」で持続可能性が言われてきたが、持続するだけでは持たない。</p> <p>これからは減っていくこと、なくなっていくことを前提に置いて、そこに住む人たちが良い状態になることが大切という「ウェルビーイング」に移り変わってきた。</p> <p>ウェルビーイングの向上を生涯学習の視点から目指していくことが大切といわれている。</p>
委員	<p>タイトルとしてキャッチーな言葉で表現することは問題ないと思う。</p> <p>その代わり、その下でちゃんと噛み砕いて説明することは必要だと思う。</p>
委員	<p>基本理念や目指す方向性の中に知らない言葉があっても説明がしっかりできていればいいのではと思う。市民の方たちを引っ張っていくことにもつながるのでは。</p> <p>「まち」という言葉が出てきている。個人の成長やまなびが「まち（丹波市）」のためだけというイメージになってしまうことになる。</p>
委員長	<p>個人の学びが個人だけで完結することはない。いつも社会とつながっている。</p> <p>人間は社会的な生き物であり、社会とつながっている。</p> <p>これまでの審議会の議論の中で出てきた意見を目指す方向性の3つのタイトルの中にはめ込んでいった後に、再度議論することでハマる言葉が見つかっていくかもしれない。</p> <p>言葉の意味や使い方はこだわっていく必要があると思う。</p>
委員	<p>「学ぶ」という目的が若い人と高齢者の方で違ってきていると思っている。</p> <p>私は、生涯学習は「情緒を育てていく」ことだと思う。</p> <p>その土地の民謡や歴史を知ってもらうことで若い人が感じてもらえることがあると思う。</p>
委員長	<p>「知識」という言葉は体系化された学びなどの印象になるが、情緒など非認知の学びも大変重要。</p>

委員	<p>「学校・地域・家庭」の書く順番にもこだわりたい。 小学校と中学校でも地域との間のハードルの違いがある。 「学校」が1番であるのか。地域の活動（土日）にも先生が見に来ることがある。学校や先生の負担にもつながる。</p>
委員長	<p>「地域学校協働活動」もあえて地域を先に出している。 「支援」ではなくて「協働」</p>
委員	<p>スポーツクラブのアンケートでも障がいを持っている人たちが一緒になれるものがあるかは問われることがある。 自分は事務局的に動くことが好き。誰かを支える人の大切さもある。 下支えする人も大切にしていきたい。</p>
委員	<p>「やりたいことがこのまちにある」はいいと思うようになってきた。 島根県海士町では「ないものはない」と言い切っている。 「ないものはない」が「やりたいことはある」というのがいい言葉だと思う。 めざす方向性の②の「学びや協働を支える」は「やりたいこと」にしたらどうか。その方がわくわくする気がする。</p>
委員	<p>「ひとづくり」のイメージが出にくい。 一番重要だけどここでいいのか。 下支えする人たちの重要性もあるので、人づくりを一番根底において、予算もちゃんと降りるようにすることも重要ではないか。</p>
委員長	<p>○次回までの準備 ①目指す方向性の中にある程度の課題や施策を書いたものを事務局で準備する。それを見ながら、基本理念や目指す方向性の言葉を選んでいく。 ②クロス集計をできたところから委員に共有する。</p>
委員	<p>6. 各委員からの各委員からの報告・共有事項 たんば社会教育士コミュニティでのイベントについて (1)伝えたい私のお気に入り 9月28日 (2)益田市視察報告会 9月11日</p>
事務局	<p>7. 次回日程について (次回と次々回の会議日程の調整)</p>

<p>委員長</p> <p>副委員長</p>	<p>8. 閉会</p> <p>それでは、締めあいさつを副委員長からお願いします。</p> <p>今日もたくさんの議論ができ、たくさんのヒントが得られたと思う。 やはり大切なのは、互いに話し合うことであり、その中でしか得られないものがあると感じました。今日も意味のある議論ができたと思います。 ありがとうございました。</p>
	<p>次回（第5回）審議会</p> <p>令和6年9月26日（木） 午後7時～午後9時</p> <p>氷上住民センター 研修室</p>